

(財)松竹大谷図書館ニューズレター

Shochiku Otani Library

No. 158(2011年5月)

■ 新着資料案内 ■ 新しく受入れた資料をご案内いたします！

映 画 資 料

○ …… 受入済み

タイトル	プログラム	プレス	ポスター	スチール写真	台本
『 八 日 目 の 蟬 』	○	○	○		

映 画 プ ロ グ ラ ム

『エンジェル ウォーズ』 『鬼神伝』 『抱きたいカンケイ』
 『豆腐小僧』 『少年マイロの火星冒険記 3D』 『アンノウン』
 『第23回東京国際映画祭公式プログラム』

松 竹 系 4 月 公 演 資 料

○ …… 受入済み

劇場	演目	台本	スチール	プログラム	ポスター
新橋演舞場	『お江戸みやげ』	○			
	『一條大蔵譚 檜垣・奥殿』	○			
	『恋飛脚大和往来 封印切』	○			
	『絵本太功記 尼ヶ崎閑居の場』	○		○	○
	『男女道成寺』	○			
	『権三と助十』	○			
日生劇場	『滝沢歌舞伎2011』			○	○
南座(京都)	『忍夜恋曲者 将門』			○	○
	『日本振袖始』	○			
	坂東玉三郎中村獅童東日本大震災チャリティー トークショー				○
	第十九回南座歌舞伎鑑賞教室				○
松竹座(大阪)	『繚乱さくら桜サクラ』(OSK)	○		○	○
	『STARS LEGEND』(OSK)	○			
	『喜劇 三婆』	○		○	○
金丸座	『一谷嫩軍記 熊谷陣屋』	○			
	『天衣紛上野初花 河内山』	○			
	『浮世風呂』			○	○
	『御存鈴ヶ森』	○			
	『藤娘』				
博多座	『涌昇水鯉滝 鯉つかみ』	○			
	『紺屋の恋女房』			○	○
	『二人のスプリングコンサート』				

ポスター閲覧ご希望の際は事前に御予約をお願いいたします

他社公演資料

あうるすぽっと	3月	『デンキ島 白い家篇』プログラム
アサヒ・アートスクエア	3月	『三島近代能楽集「邯鄲」「葵上』』プログラム
紀伊國屋サザンシアター	3月	『青ひげ先生の聴診器』プログラム、台本
紀伊國屋ホール	3月	『ねぎぼうずのあさたろう』『ピーターとおおかみ』プログラム
国立劇場小劇場	4月	『明日をになう新進の舞踊・邦楽鑑賞会』プログラム
サンシャイン劇場	3月	『NANTAナンタ』ポスター
	4月	『missing piece か・け・ら』ポスター
座・高円寺2	3月	『火垂るの墓』プログラム、台本
ザ・スズナリ	3月	『音楽の時間』プログラム、台本
		『裏屋根裏』プログラム
シアターX	3月	『ドモ又の死』『眠駱駝物語』プログラム
シアタークリエ	3月	『ミュージカル ウェディング・シンガー』プログラム
自由劇場(四季)	3月	『オンディーヌ』プログラム
SPACE雑遊	3月	『冬の旅』プログラム
世田谷パブリックシアター	3月	『MANS A I解体新書その拾八』プログラム
東京国際フォーラムホールC	3月	『ヨセフ・アンド・ザ・アメージング・テクニカラー・ドリームコート』プログラム
日生劇場	3月	『北島三郎特別公演』プログラム
博品館劇場	3月	『a b c ☆赤坂ボーイズキャバレーSpinOff』プログラム
		『舞台 華鬼』プログラム
パルコ劇場	3月	『国民の映画』プログラム
本多劇場	3月	『ハムレット』プログラム、台本
三越劇場(日本橋)	3月	『女の人さし指』プログラム
明治座	4月	『早乙女太一公演』プログラム
六行会ホール	3月	『ふりだした雪』『舵』プログラム

演劇雑誌

『AAC』2011年No. 68

『あぜくら』平成23年4・5月号

『Bandaly』2011年(10号)

〔《特集》盛田茂 ドキュメンタリー映画監督タン・ピンピンの制作活動から読み解くシンガポールの新潮流〕

『舞踊芸術』2011年4月号

『Confetti』2011年MAY Vol. 77、JUNE Vol. 78

『Confettiかわら本』2011年5月号

『伝統歌舞伎保存会ニュース』21・22号

『伝統文化新聞』2011年(59号)

『演劇映像』2011年52号

〔《特集》寺山修司『毛皮のマリー』論—欣也の変容をめぐる— 熊井絵理/デジタル・ダンス・ノーテーションのシステムと振付のコンセプト 松井智子〕

『演劇界』2011年5月号

〔《特集》十五代目市村羽左衛門—稀代の美しき名優の芸と人— 《インタビュー》坂東三津五郎/市川笑也〕

『演劇研究』2010年34号

〔《特集》研究 八代目市川團十郎と甲州亀屋座興行 木村涼/資料 三村竹清日記「不秋草堂日暦(十九)」

三村竹清日記研究会/研究 フセヴォロド・メイエルホリドの演劇における構成主義再考 上田洋子〕

『演劇映像学連携研究拠点ニューズレター』2011 February (1号)

『演劇博物館』2011年Vol. 104

〔《特集》「永井愛と二兎社の世界 —三〇年の軌跡をたどる—」/「六世中村歌右衛門展 —私の愛したお役—」/「表象とかたち —伊藤熹朔と昭和の舞台美術—」/「初代中村吉右衛門展〕

『悲劇喜劇』2011年4月号〔《特集》三島由紀夫 《掲載戯曲》『シングルマザーズ』永井愛〕

『悲劇喜劇』2011年5月号

〔《特集》劇団の力／追悼 小幡欣治 《掲載戯曲》『ゴドーを待ちながら』サミュエル・ベケット〕

『ひろば』2011年117号

『邦楽の友』平成23年5月号

『ほうおう』2011年6月号〔《インタビュー》松本幸四郎／新派四季暦 水谷八重子に聞く〕

『日本舞踊』63巻5月号〔《特集》秘曲・新曲サロン 常磐津 月／舞踊写真教室 新内 お初〕

『JPL』2011年Spring No. 41

〔《特集》シルク・ドウ・ソレイユ、日本では9番目の作品 KOOZA クーザ／三谷幸喜＝作・演出「国民の映画」〕

『歌舞伎美人だより』2011年4・5月号

『日本芸術文化振興会ニュース』平成23年5月号

『日本照明家協会雑誌』2011年4月号

〔《インタビュー》綿貫冬樹さんに聞く 《特集》平成23年 テレビ部会「第21回地域会議・奈良会議」開催報告／平成22年度舞台技術者会議「創造」と「技術」の両立に向けて（前編）服部基〕

『日本俳優協会会報』70・71号

『日本演劇協会会報』320～325号

『日本劇作家協会会報 ト書き』2011年47号

〔《特集》追悼 井上ひさし氏 つかこうへい氏 福田陽一郎氏 こばやしひろし氏 《インタビュー》ジェイソン・マガノーイ氏 ギー・スプラング氏 デービッド・ミルロイ氏〕

『日本演劇協会会報』324号

『青年座』399号、401～403号、406号、409号、412号

『シアターアーツ』2011年春（46号）

〔《特集》年間回顧2010年／座談会「井上ひさし、舞台の夢に」／〔対談〕松本雄吉×西堂行人 《掲載戯曲》『フォーエバーヤング』水沼健〕

『シアターガイド』2011年6月号

〔《特集》劇場へ行こう—舞台のチカラ—／野田秀樹インタビュー／劇団、劇場作り手たちの想い〕

『テアトロ』2011年5月号

〔《特集》戦後日本演劇を変えた演劇人Ⅲ・男優編 《掲載戯曲》第22回テアトロ新人戯曲賞最終審査候補作品（2）『夜叉の娘』長緒始／『天国への二枚の切符』ジャン・ポール アレーグル〕

『都民劇場』2011年3月号

『座・高円寺』No. 5

映 画 雑 誌

『ドラマ』2011年5月号

〔《掲載シナリオ》『ヘブンズ・フラワー The Legend of ARCANA』1～3話 泉澤陽子 大林利江子 中山智博 野高みゆき／『相棒 season9 最終回スペシャル「亡霊」』戸田山雅司 輿水泰弘〕

『映画テレビ技術』2011年4月号

〔《特集》日本初の3D音楽レギュラー番組『Panasonic 3D Music Studio』3D撮影現場報告と3D関連機材設備の状況／映画『津軽百年食堂』大森一樹監督に聞く〕

『映画テレビ技術』2011年5月号

〔《特集》映画『SPACE BATTLESHIP ヤマト』の制作過程／映画『これでいいのだ！！映画☆赤塚不二夫』林淳一郎撮影監督に聞く／立体映像新時代 第2次立体映画ブーム（2）〕

『映画秘宝』2011年6月号

〔《特集》負けない！あきらめない！観れば絶対に元気になる 不屈の映画150／『スコット・ピルグリムVS. 邪悪な元カレ軍団』／町山智浩×『進撃の巨人』諫山創〕

『衛星劇場プログラムガイド』2011年5月号

『エキブ・ド・シネマ』2011年No. 181〔「木洩れ日の家で」〕

『FLIX』2011年6月号No. 205

〔《特集》二宮和也&松山ケンイチ/山田孝之&綾野剛/村上信五&大倉忠義/大野智〕

『キネマ旬報』2011年4月下旬号

〔《特集》「ダンシング・チャップリン」/2011年下半期、日本の映画監督たち20人/ノワールに躓け
一殺しはアメリカに遍く/ジャック・ブラック「ガリバー旅行記」/決定!映画本大賞2010〕

『キネマ旬報』2011年5月上旬号

〔《特集》追悼 エリザベス・テイラー/3月11日以降の映画界/「キッズ・オールライト」「ブルーバレン
タイン」試される家族/「八日目の蟬」/中谷美紀〕

『京橋映画小劇場 KYOBASHI-ZA』No. 21

『民間放送』1828号~1863号

『NFCニューズレター』2011年4月-5月号〔《特集》生誕百年 映画監督 吉村公三郎〕

『NFCカレンダー』2011年5月号

『日経エンタテインメント!』2011年5月号

〔《特集》2011年タレントパワーランキング/やっぱり見たい!GW映画33本/武井咲〕

『日本映画テレビプロデューサー協会会報』No. 386~No. 395

『日本アカデミー賞協会会報』69号

『ぴあ』2011年4/28号、5/12号

『ピクトアップ』2011年6月号70号

〔《特集》『GANTZ PERFECT ANSWER』ガンツ球が導いた場所 松山ケンイチ 二宮和也
×吉高由里子/高良健吾/堀北真希/前田敦子/中村蒼/是枝裕和×まえだまえだ/新海誠〕

『SCREEN』2011年6月号

〔《特集》「パイレーツ・オブ・カリビアン/生命の泉」トレジャーBOOK/海外スターたちから『がんば
れ!ニッポン』のエール/これから見られる必見超大作〕

『シナリオ教室』2011年5月号

〔《掲載シナリオ》第31回「BKラジオドラマ脚本賞」佳作『道頓堀ジャンピングガールズ』堀達夫/第
2回「科学ドラマ大賞」シナリオ部門大賞『ピンクの希望』竹中あい〕

『シネ・フロント』2011年3月号

〔《特集》『ビューティフルアイランズ』海南友子監督/『180° SOUTH ワンエイティ・サウス』/
カイウラニ・リー脚本・主演『レイチェル・カーソンの感性の森』〕

『TVガイド』2009年11/13号、11/20号、11/27号、12/4号、12/11号、12/
18号、2010年1/11号、1/15号、1/22号、1/29号、2/5号、2/12
号、2/19号、2/26号

『友 Iwanami Hall』2011年春号No. 369

『ザ・テレビジョン』2009年11/13号、11/20号、11/27号、12/4号、12/11号、
12/18号、2010年1/11号、1/15号、1/22号、1/29号、2/5
号、2/12号、2/19号、2/26号

書籍

『ブラックシープ 映画監督「中平康」伝』	中平まみ (著)	ワイズ出版
『ペンギンプルペイルパイルズ結成10周年史』		ペンギンプルペイルパイルズ
『大向うとゆく平成歌舞伎見物』	樽屋壽助 (著)	PHP研究所
『歌舞伎&KABUKI』	森真琴 (著)	ローカス
『歌舞伎と人形浄瑠璃』	田口章子 (著)	吉川弘文館
『歌舞伎にアクセス』	伊達なつめ (著)	淡交社
『ことばの花道 暮らしの中の芸能語』	赤坂治績 (著)	筑摩書房
『今宵も歌舞伎へまいります』	沼野正子 (著)	晶文社
『テレビ進化論 映像ビジネス覇権のゆくえ』	境真良 (著)	講談社
『日本劇顔』	十文字美信 (著)	ぴあ
『はじめての歌舞伎 演目ガイド80』	五十川晶子 (著)	池田書店
『姉妹の松韻 箏曲に咲いた二代の譜』	山勢松韻 - 6世 [述]	清流出版
『三谷幸喜のありふれた生活5 有頂天時代』	三谷幸喜 (著)	朝日新聞社
『淀川長治の映画人生』	岡田喜一郎 (著)	中央公論新社
『KABUKI'S FORGOTTEN WAR 1931-1945』		James R. Brandon
『全国映画資料館録 2010』		国立近代美術館フィルムセンター(編)
『楠山正雄の戦中・戦後日記 追補』 楠山正雄 (著)、楠山三香男 (編)		富山房
『芝大神宮氏子周辺歴史覚書帳』		芝大神宮社務所
『町火消・め組について 清宮武三氏との対談』		芝大神宮社務所
『Recueil de pieces de theatre japonaises contemporaines traduites en francais 1』		
Association japonaise des dramaturges [日本劇作家協会]		
『Recueil de pieces de theatre japonaises contemporaines traduites en francais 2』		
Association japonaise des dramaturges [日本劇作家協会]		
『女殺油地獄』(前進座文庫)		前進座文庫編集委員会
『さぶ』(前進座文庫)		前進座文庫編集委員会
『親鸞』(前進座文庫)		前進座文庫編集委員会
『東海道四谷怪談』(前進座文庫)		前進座文庫編集委員会
『堀川波の鼓』(前進座文庫)		前進座文庫編集委員会
『救急車』	ギィ・フォワシィ (作)、和田誠一 (訳)	ギィ・フォワシィ・シアター
『朝鮮海峡 千代田丸の記録』	本田英郎 (作)	東京芸術座
『こんびら歌舞伎 改訂新版』	井下正三 (著)	保育社
『ヘンリー六世 第一部』	ウィリアム・シェイクスピア (作)、小田島雄志 (訳)	白水社
『ヘンリー六世 第二部』	ウィリアム・シェイクスピア (作)、小田島雄志 (訳)	白水社
『ヘンリー六世 第三部』	ウィリアム・シェイクスピア (作)、小田島雄志 (訳)	白水社
『助六由縁江戸櫻樂屋句會 平成十七年十月吉日』		河東節十寸見會
『助六由縁江戸櫻樂屋句會 平成二十二年七月吉日』		河東節十寸見會

所蔵資料展示

第11回「虫が出てくる舞踊」関連資料

展示期間：2011年5月2日～5月25日 於：松竹大谷図書館閲覧室

5月の明治座では、平成7年以来16年振りに歌舞伎公演が行われています。上演作品のうち『蝶の道行』はもともと『けいせい倭荘子』というお家騒動を扱った芝居の道行場面でした。主人公の助国と小楨は人目を忍ぶ恋人同士でしたが、叶わぬ恋の末、主君とその許婚の身替りとなって死んでゆきます。『蝶の道行』では、その死後の二人の魂が蝶となって死出の道をさまようという趣向になっています。今回はこの『蝶の道行』にちなんで、「虫が出てくる舞踊」に関する資料を展示いたします。

昭和3年11月歌舞伎座上演の『胡蝶の舞』は、その年の3月から10月の間欧米漫遊旅行に出た十五代目市村羽左衛門の帰朝記念興行で踊られた舞踊です。旅先で美しい衣裳を購入した羽左衛門は、まるで蝶の精が着るようなその衣裳を身に付けて洋楽で踊るこの作品を作ったのでした。この時共演した六代目尾上菊五郎の雌蝶の精の扮装写真が「写真集 六代目菊五郎」に掲載されていますが、真面目な顔付の少し太めの蝶々が大変微笑ましい1枚です。

『胡蝶の舞』筋書挿絵



蝶とともに歌舞伎でよく扱われるのが蜘蛛です。『土蜘蛛』では、叡山の僧に化した土蜘蛛の精が、病に伏した源頼光の許へ病氣平癒の祈祷のためと称してやって来ますが、やがて正体を現します。そして巢に追い詰められた土蜘蛛の精は、捕らえようとする四天王や軍卒に千筋の蜘蛛の糸を投げかけます。歌舞伎の作品の中でも特に知られた、大変有名な場面です。

『蜘蛛の拍子舞』も頼光の蜘蛛退治を扱った作品です。天明元年（1781）11月江戸中村座の顔見世狂言『四天王宿直着綿』の所作事として初演され、当時人気絶頂の三代目瀬川菊之丞が蜘蛛の精を演じました。この作品では、女方の菊之丞のため、葛城山の女郎蜘蛛の精が美しい白拍子の姿で現れる設定になっています。

『華果西遊記』は長編の原作の中から、蜘蛛の妖怪を退治するエピソードを中心に舞踊劇としたものです。天竺へ向かう旅先で、三蔵法師一行は女ばかりが住む国の城に招かれますが、その城主の女王姉妹の正体は、三蔵法師を色仕掛けで魔界へ引き込もうとする蜘蛛の妖怪でした。終盤では大勢の蜘蛛四天王を従えた姉妹蜘蛛の精が、孫悟空とその分身の猿たちに対峙する大変華やかな舞台となります。

『舞鶴雪月花』は十七代目中村勘三郎（俳名：舞鶴）のために書き下ろされた作品です。春・秋・冬の季節のうち、秋に松虫が登場し、命儂い虫の親子の情愛を表現します。

二代目市川猿之助（＝初代市川猿翁）が構想・振付し、自身の会・春秋座で発表した『蟲』には、鈴虫、響虫、松虫、キチキチバッタ、キリギリスと、多種の虫が登場します。夏の盛りに群れ遊んでいた虫たちが、秋が近づくにつれ、風に揉まれ、やがて消えてゆく様子を、従来の唄に連れて踊る舞踊とは異なり、洋舞のように唄の無い管弦（尺八、琴、三味線、笛、鼓）の演奏で踊る新趣向が話題となりました。

『蟲』
キリギリス(二代目猿之助)



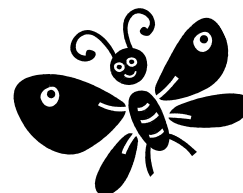
虫が演出や小道具として使われる場合もあります。『東海道四谷怪談』大詰の、鄙の一軒家を舞台とした通称「蛍狩」と呼ばれる場は、陰惨な話の合間に挿入される美しい舞踊仕立ての場です。ここでは、伊右衛門は凛々しい武家、お岩は可憐な在所の娘の姿で登場します。二人のいる家の周囲に光る蛍は、愛の語らいの場に相応しい演出であると同時に、その儂い光がその後の男女の運命を暗示しています。やがて娘は恐ろしいお岩の姿に変化し、舞台は一転蛇山庵室となり、蛍狩の場はお岩の亡霊に悩まされる伊右衛門の見る夢であった事が明かされます。

同じ夏の虫でも、こちらはちょっと嫌な虫。『蚤取男』では、暑さで寝苦しい夜に、大きな蚤を追って若い男が蚊帳から飛び出でてきます。ついに捕えてつぶそうとするのですが、すんでのところでは蚤は逃げていってしまいます。やれやれと縁台に腰を下ろした男を、今度は大きな蠅蚊がおそってきます。

害虫が続いたところで、最後におまけを一つ。虫ではありませんが、迷惑な事では引けを取らないなめくじが出てくる舞踊です。『浮世風呂』は、きびきびと働く風呂屋の三助の男振りを見染めたなめくじが、女の姿で口説きかかるという奇想天外な趣向です。見た目は色っぽいのですが、なにせ中身はなめくじ、最後は三助に塩をふりかけられて溶けて消えてしまうのでした。

■「虫が出てくる舞踊」関連資料展示一覧■

- 1、『胡蝶の舞』 作品に登場する虫 蝶・虫
演劇スチール(昭和3年[1928]11月歌舞伎座上演) 雄蝶(十五代目市村羽左衛門)
- 2、『蚤取男』 作品に登場する虫 蚤・蚊
演劇スチール(上演年月不明) 男(二代目市川猿之助=初代市川猿翁)
- 3、『浮世風呂』 作品に登場する虫(?) なめくじ
演劇スチール(昭和57年[1982]7月歌舞伎座上演)
三助政吉(三代目市川猿之助)・なめくじ(五代目中村時蔵)
- 4、『蝶の道行』 作品に登場する虫 蝶
演劇スチール(平成4年[1992]11月新橋演舞場上演)
助国(三代目中村橋之助)、小槇(九代目中村福助)
- 5、『蜘蛛の拍子舞』 作品に登場する虫 蜘蛛
演劇スチール(平成10年[1998]12月歌舞伎座上演)
碓井貞光(四代目市川左團次)・源頼光(三代目市川猿之助)・女郎蜘蛛の精(五代目坂東玉三郎)・坂田金時(四代目市川段四郎)
- 6、『舞鶴雪月花 中の巻 松虫』 作品に登場する虫 松虫
演劇スチール(平成12年[2000]4月歌舞伎座上演)
松虫(二代目中村七之助、岡村研佑=二代目尾上右近、五代目中村勘九郎=十八代目中村勘三郎)
- 7、『蟲』 作品に登場する虫 鈴虫、響虫、松虫、キチキチバッタ、キリギリス
「新演芸」大正11年1月号グラビア複製(大正10年[1921]11月明治座上演)
キリギリス(二代目市川猿之助=初代市川猿翁)
- 8、『東海道四谷怪談 滝の川一ツ家の場[蛭狩の場]』 作品に登場する虫 蛭
プログラム挿絵複製(昭和3年[1928]7月本郷座上演)
伊右衛門(四代目市川九蔵=八代目市川團蔵)・お岩(四代目澤村源之助)・奴紀の平(八代目澤村訥子)
- 9、『土蜘蛛』 作品に登場する虫 蜘蛛
上演台本(平成5年[1993]6月新橋演舞場上演)
- 10、『華果西遊記 盤糸嶺山頂の場』 作品に登場する虫 蜘蛛
「演劇界」平成21年7月号グラビア(平成21年[2009]6月国立劇場大劇場上演)
三蔵法師(二代目市川笑也)・孫悟空(初代市川右近)・猪八戒(二代目市川猿弥)・沙悟浄(初代市川弘太郎)・姉蜘蛛の精(三代目市川笑三郎)・妹蜘蛛の精(二代目市川春猿)



お知らせ

ニューズレターをホームページに掲載いたしました！
2011年発行分より掲載しております。

下記の松竹大谷図書館のホームページの
「刊行物」よりアクセスできます。
どうぞ御覧ください。

<http://www.shochiku.co.jp/shochiku-otani-toshokan/>



財団法人 松竹大谷図書館
〒104-0045 東京都中央区築地 1-13-1 ADK松竹スクエア 3階 Tel 03-5550-1694
<http://www.shochiku.co.jp/shochiku-otani-toshokan/>